



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石塚 俊之
 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,386	△0.8	183	△11.4	189	△8.5	119	△8.4
28年3月期第2四半期	3,413	△7.2	207	△14.8	207	△13.5	130	△10.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 119百万円 (△8.4%) 28年3月期第2四半期 130百万円 (△10.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	24.73	24.14
28年3月期第2四半期	27.07	26.48

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,322		3,589			56.4
28年3月期	6,521		3,513			53.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,567百万円 28年3月期 3,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,535	8.1	486	29.6	474	25.9	302	27.9	62.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	4,840,000 株	28年3月期	4,840,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	1,701 株	28年3月期	1,701 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,838,299 株	28年3月期2Q	4,828,299 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におけるわが国の経済環境は、雇用環境等が改善の動きを続けている反面、企業収益、個人消費の改善の動きは依然として緩やかであり、全体では横ばいの状況で推移しております。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車（普通自動車）の販売は前期を上回る状況で推移しているものの、届出車（軽自動車）の販売は燃費不正問題の影響が続いており、前期を下回る状況で推移していることから当第2四半期連結累計期間の国内新車販売台数は2,306,280台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比1.0%減）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、当社の販売するホンダ製の軽自動車については上記燃費不正問題の影響は無く、届出車（軽自動車）の販売は増加しました。販売台数は980台（前年同四半期比1.8%増）となりましたが、販売車種構成の変化により1台当たりの販売価格は下落しました。また、整備業務を行うサービス売上及び登録受取手数料等の手数料収入も減少したことから売上高は27億12百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車の他、オークション等による外部仕入等により販売車両の確保に注力しましたが、販売台数は953台（前年同四半期比9.3%減。内訳：小売台数410台（前年同四半期比17.7%減）、卸売台数543台（前年同四半期比1.8%減））となりました。また、サービス売上は増加しましたが、登録受取手数料等の手数料収入は減少しました。売上高は6億22百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では、前年に開設いたしました八街店が成果を上げはじめており、保険契約件数及び保険取扱手数料がともに増加したこと等から売上高は51百万円（前年同四半期比20.1%増）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は33億86百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は1億83百万円（前年同四半期比11.4%減）、経常利益は1億89百万円（前年同四半期比8.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億19百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。これは、主力である自動車販売において売上高が前年同四半期に比べて減少したことによるものです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は35億円となり、前連結会計年度末に比べて1億64百万円減少いたしました。これは現金及び預金が66百万円、商品及び製品が14百万円、その他の資産が25百万円それぞれ増加、受取手形及び売掛金が2億71百万円減少したことによるものです。固定資産は28億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて33百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が27百万円、投資その他の資産が6百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は63億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億98百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は24億20百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億31百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が12百万円、その他の負債が18百万円それぞれ増加、買掛金が32百万円、短期借入金が2億27百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は3億12百万円となり、前連結会計年度末に比べて43百万円減少いたしました。これは長期借入金が25百万円、その他の負債が18百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、負債合計は27億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億75百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は35億89百万円となり、前連結会計年度末に比べて76百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億19百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は56.4%（前連結会計年度末は53.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には14億95百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は3億67百万円（前年同四半期は1億68百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億89百万円から主に減価償却費54百万円、売上債権の減少額2億97百万円、たな卸資産の増加額34百万円、仕入債務の減少額32百万円、その他の資産の増加額24百万円、その他の負債の減少額26百万円及び法人税等の支払額57百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は0百万円（前年同四半期は5百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5百万円、貸付金の回収による収入5百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は3億円（前年同四半期は2億63百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出2億52百万円、配当金の支払いによる支出48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428,951	1,495,273
受取手形及び売掛金	1,777,122	1,505,919
商品及び製品	334,334	348,930
その他	125,187	150,728
流動資産合計	3,665,595	3,500,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	439,107	422,976
機械装置及び運搬具（純額）	197,293	182,756
土地	1,985,328	1,985,328
その他（純額）	3,920	6,998
有形固定資産合計	2,625,650	2,598,059
無形固定資産	2,084	1,754
投資その他の資産	228,123	222,054
固定資産合計	2,855,857	2,821,868
資産合計	6,521,453	6,322,720
負債の部		
流動負債		
買掛金	495,353	462,783
短期借入金	1,709,910	1,482,635
1年内返済予定の長期借入金	50,004	50,004
未払法人税等	43,835	56,112
賞与引当金	50,408	47,537
その他	302,795	321,248
流動負債合計	2,652,306	2,420,322
固定負債		
長期借入金	129,153	104,151
その他	226,446	208,366
固定負債合計	355,599	312,517
負債合計	3,007,906	2,732,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,085,128	3,156,443
自己株式	△673	△673
株主資本合計	3,496,036	3,567,351
新株予約権	17,511	22,529
純資産合計	3,513,547	3,589,881
負債純資産合計	6,521,453	6,322,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,413,293	3,386,952
売上原価	2,575,642	2,588,362
売上総利益	837,651	798,589
販売費及び一般管理費	630,622	615,227
営業利益	207,029	183,362
営業外収益		
受取利息	796	714
受取手数料	4,549	7,697
その他	2,347	2,912
営業外収益合計	7,693	11,325
営業外費用		
支払利息	7,612	5,206
その他	—	36
営業外費用合計	7,612	5,242
経常利益	207,110	189,444
特別損失		
固定資産処分損	498	78
特別損失合計	498	78
税金等調整前四半期純利益	206,611	189,366
法人税等	75,909	69,667
四半期純利益	130,702	119,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,702	119,698

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
四半期純利益	130,702	119,698
四半期包括利益	130,702	119,698
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,702	119,698
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	206,611	189,366
減価償却費	64,219	54,867
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,964	△2,871
株式報酬費用	4,617	5,018
受取利息及び受取配当金	△796	△714
支払利息	7,612	5,206
固定資産処分損益 (△は益)	498	78
売上債権の増減額 (△は増加)	193,434	297,109
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△128,241	△34,554
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,272	△32,569
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,819	△24,460
その他の負債の増減額 (△は減少)	△81,528	△26,631
小計	270,914	429,845
利息及び配当金の受取額	18	18
利息の支払額	△7,645	△5,272
法人税等の支払額	△94,901	△57,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,386	367,168
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,587	△5,845
無形固定資産の取得による支出	△1,741	—
貸付金の回収による収入	5,364	5,364
差入保証金の差入による支出	△3,085	△4,800
差入保証金の回収による収入	2,500	5,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,551	△186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△186,902	△227,275
長期借入金の返済による支出	△28,612	△25,002
配当金の支払額	△48,282	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263,797	△300,660
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100,962	66,321
現金及び現金同等物の期首残高	1,418,796	1,428,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,317,834	1,495,273

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,732,812	637,318	3,370,130	43,162	3,413,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	143,094	77	143,171	98,705	241,877
計	2,875,906	637,395	3,513,302	141,868	3,655,170
セグメント利益	173,341	83,530	256,871	21,265	278,137

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	256,871
「その他」の区分の利益	21,265
セグメント間取引消去	△148
全社費用（注）	△70,960
四半期連結損益計算書の営業利益	207,029

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,712,929	622,192	3,335,122	51,830	3,386,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	159,155	42	159,198	90,188	249,386
計	2,872,085	622,234	3,494,320	142,018	3,636,338
セグメント利益	184,516	68,257	252,774	17,585	270,360

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業
関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	252,774
「その他」の区分の利益	17,585
セグメント間取引消去	△537
全社費用（注）	△86,460
四半期連結損益計算書の営業利益	183,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。